

我ら 50 期 ここにあり

何のために、誰のためにレンガを積むのか？

建築現場でレンガを積みの仕事をしている人が3人います。1人ずつ「何をしているのですか」と聞いてみると、1人目の人には「見ればわかるだろう。レンガを積んでいるんだよ」と言いました。2人目の人には「レンガを積んでお金を稼いでいるんだ」と答えました。3人目の人には「レンガを積んで多くの人が喜んでくれる境界を造っているんだ」と話してくれました。同じレンガ積みの仕事をしていても、仕事に対する見方がそれぞれ異なっています。1人目の人にはレンガ積みの仕事を「やらされている」という意識がつよいのかもしれません。少なくともレンガ積みの仕事をやりたいとは思っておらず、ただ作業としてやっているのだと思っているようです。2人目の人はどうでしょうか。「お金を稼ぐために」レンガ積みをしているので、他にもっとお金がもらえる仕事があれば、すぐそちらに行ってしまいそうです。3人目の人の場合はどうでしょうか。この人は、「人々のために教会を造る」という大きな目的があります。人々のためになることが、この人のレンガ積みの大きなモチベーションになっています。自分の仕事をやりがいのある仕事だと感じているようです。この3人のうち、どの人の考え方方が良いとか悪いとかという判断はできません。ただ、レンガを積んでいる時間、つまり仕事をしている時間、幸せな気持ちは誰かと考えると、最後の人なのは明らかです。自分のした行動が誰かの笑顔を作ることができる、そんなことを想像しながら行動できるようになりたいですね。そんな人は自分に誇りを持ちながら生きられるはずです。これは何に置き換えて同じことが言えるのではないかでしょうか。「挨拶」「返事」「勉強」「委員・係・当番の仕事」「卒業式」「高校」「専門学校」「仕事」などなど。何のために、誰のためにやるんでしょうか。自分の発する言葉、とる態度、する行動は、何のために、誰のためにやってるんでしょうか。「もちろん自分のために」が第一ですけど、そのことが人のためになつていれば、最高の「自分ため」になるのではないかでしょうか。

受験前日の過ごし方 ～令格への道～

①リラックスしていつも通り過ごす

受験前日は、勉強してもなかなか頭に入らないという意見が多かったので、息抜き・気分転換・体調を整えるの3点を意識して、受験前日を過ごすことをお勧めします。具体的には、長い間我慢していたゲームを少しやったり、合格後にどんなことをしたいか考えたり、好きな音楽を聞くなど、ハメを外さないように注意しながら、リラックスしていつも通り過ごしましょう。

②勉強はポイントをしぶる

前日は、緊張感や非日常感が高まり勉強してもなかなか頭に入りにくい人が多いようです。とはいは、勉強しておかないと落ち着かない人もいるでしょうから、無理に勉強しないでおくより、気持ちよく勉強しましょう。おすすめは、社会や理科などの暗記系科目の重点や今までやったことの復習、これまで使ってきたノートなどの見直しをするとよいでしょう。やみくもに難しい問題を解くのではなく、ポイントを絞って勉強するようにしましょう。

③持ち物・服装

当日着ていく制服などは、すぐに着替えられるように前日の間に準備しておきましょう。持ち物も前日の夜には準備をしておきましょう。(筆記用具、受験票、お守り、勉強道具、昼食、飲み物、交通費など)会場の特性や窓側・通路側など座席によっては換気などで寒さを感じる可能性もあります。カイロを持参したり脱ぎ着で体温調整をできるように準備をしておきましょう。

④当日の流れを頭に入れておく

当日の朝、どのような流れで準備をして、どういう経路で受験会場に向かうのか、その流れと時間を頭に入れておきましょう。そうすれば、当日慌てずにゆとりをもって受験会場に到着することができます。会場の教室と自分の席が確認できたらトイレに行っておきましょう。そのためにもいつもより時間にゆとりをもって行動しましょう。

⑤食事と睡眠はしっかりとする

前日の夜は、しっかり食事をして、しっかり睡眠を取りましょう。睡眠時間は、これまでの自分の生活を振り返って、自分の頭が働きやすいと思う時間を確保するようにしましょう。あなたはあなたが食べたものでできているのですから、何をどれくらい食べるかを意識して食べましょう。